

令和5年度第1回学校教育審議会 議事録

令和5年5月10日15:00～
市役所北庁舎 A会議室

〔出席委員〕 山下千之 藤本直子 西坂千代子 生田均 明德一志 岩本善文
河野有兵 行田佳子 坂田紘理 和田一進 加嶋慎一 嘉戸浩二

(敬称略)

1 開会	
事務局 教育長 会長	資料の確認、開会 挨拶 挨拶
事務局	自己紹介 出席者および出席人数、会の成立について確認 日程および内容の確認

2 協議・報告	
事務局	それでは日程2番の協議事項に入りたいと思います。司会進行については学校教育審議会条例第6条第1項の規定により山下会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。
会長	それでは協議に入らせていただきます。まず協議事項(1)番の倉吉市立小鴨小学校と倉吉市立上小鴨小学校の統合について事務局より説明をよろしくお願いいたします。
事務局	資料はA4版ホチキス止めの令和5年度第1回倉吉市学校教育審議会学校資料、それから諮問書をお手元に用意していただければと思います。倉吉市立小中学校の学校規模に関する基本方針について、まず1番学校規模に関する基本的な考えですが、3点ございます。1つ目が1学級最低20～30人以上、適切な規模と考える。2点目、小学校中学校とも1学年複数学級が望ましい、倉吉の場合は1学級でも良いとする。そして3点目、複式学級を回避するため地域住民が希望する際には小規模特任校制度を導入する、ただし2年間の間に児童数の増加が見込めない場合は学校統合の協議を開始するものと考えております。2番の配慮事項ですが、学区の改編を進める際には地域住民と十分な時間をかけて話し合い理解と合意のもとに進めるとしてしております。なお参考として学級数の人数基準を載せております。通常学級の人数ですが、小学1～4年生までは1～30人を1学級、30人ごとに2学級、3学級と増えてまいります。なお小学校5年生6年生は35人としておりますけれども来年度は5年生も30人、7年度は6年生も30人となってまいります。中学校1～3年につきましては35人学級となっておりますが、1年生に関しましては33人です。先ほど複式学級という言葉が出てまいりました。複式学級の人数ですが、鳥取県の方では小学校1年生については複式学級にしない、2年生～中学3年生までにかけては2つの学年で15人以下の場合、複式学級として1つの学級で学習するという形を取っております。例えば小学校2年生と3年生が15人である場合は15人以下になりますので2年生と3年生が1つの教室で学習することになります。そして特別支援学級は7人を単位として学級をつくっております。それから倉吉市立小学校適正配置にかかる進捗状況についてということでございます。先ほど小鴨・上小鴨小学校地区についてということでも参考で載せさせてもらっております。小鴨・上小鴨地区につきましては学校名ですけれども小鴨小学校としております。なぜそうなったかということにつきましてはまた説明させていただきます。位置は、現在の小鴨小学校です。校章はただいま公募を掛けているところでございます。5月31日まで公募として8月中に選定予定。校歌につきましては現在の小鴨小学校のものと決まっております。検討

	<p>中のものとしましてはスクールバス、上小鴨地区の児童については小鴨小へ運行するということが決定しております。運行ルート及び関金小への運行については今現在検討中です。それから、PTA規約、現在小鴨小学校のものをベースに検討しています。体操服は、2候補の内から統合準備委員会、PTA部会で選定しているところでございます。それでは、諮問書をご覧ください。倉吉市教育委員会から諮問書という形で出ております。読ませていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諮問書読み上げ ・ 試問理由の説明 ・ 参考資料の説明（今後の児童数推移、校区図、統合準備委員会設置要項等） <p>上小鴨地区の方からの意見ですが、令和6年開校は保護者の強い願いであり、大切なのは子ども達の教育環境、教育内容が大事である、早く統合するべきという意見がありました。それから小鴨も上小鴨も昔は小鴨氏が治めた地域であった、小鴨という地名に馴染みが深い。上小鴨も小鴨であった時期もあった、くっついたり離れたりを繰り返している地域である。両地域とも小鴨川という共通の河川で結ばれて地域が形成されているということで小鴨という名称は、上小鴨地区の住民にも共通の馴染みや親しみがあるということ。それから校歌につきましては上小鴨小学校の校歌は上小鴨の土地の名前がよく入っております。小鴨小学校の校歌は小鴨川、大神山（大山）等となります。上小鴨にも共通しているので違和感がないということ、校名、校歌、こういうものの歴史よりも教育内容の中に上小鴨の地域、歴史についてきちんと組みこんでもらうことが大切であろうということで、校名、校歌は小鴨小学校のものをということで話し合いました。このような経緯から小鴨小学校の設置について求めるということで諮問を出させていただいております。委員の皆様には審議していただければと思いますのでよろしくお願いたします。</p>
会長	ただいまの事務局からの説明につきまして何かご意見ご質問、ご感想でもよろしいのでございませんでしょうか。
委員	地域住民の理解と合意のもとという言葉がありますが、合意という具体的な内容は準備委員会での最終的な採決に至ったものなのか、全会一致だったものなのかそのあたりの設定に至る合意の中身ですね。これはどういうものだったのかについてご説明いただけませんでしょうか。
事務局	ありがとうございます。この内容については各地区で話し合いをしておられます。そして、統合準備委員会の方でもさせてもらっております。上小鴨さんの方も、小鴨でお願いしたい、校名は小鴨、校歌についても小鴨の校歌でお願いしたいということで、皆さん一致した意見で出してこられまして、そして統合準備委員会の方でも皆さん一致した意見ということで決まっております。
委員	全会一致でこの名前決まったという理解でよろしいですか。
事務局	そうです。
委員	ありがとうございました。
会長	そのほかございませうか。
委員	上小鴨小学校の再編の起こる前の、令和4年度6月に集落懇談会にまわらせてもらっていましたが、最終的には地域の方も子ども達が最優先じゃないかということでした。10年前の感じは全然無くなったので、10年前とは違うので、特に問題は起きてないということなので大丈夫そうだという感じは受けています。一住民としても、このまま穏便に進んでもらった方が子ども達のためになると思っています。ですから、皆様に温かく見守っていただいた方が、コロナも落ち着いてどんどん交流も始まってくる頃なので、縮こまっているよりはみんなが飛び出した方がいいのかなと思っています。温かくお願いします。

<p>会長</p>	<p>漏れ聞くところ穏やかに粛々と進んでいったというふうに向っております。皆さんそのほかよろしいでしょうか。それでは小鴨小学校と上小鴨小学校の統合につきまして、皆さんご承認いただけますでしょうか。</p> <p>(異議なし 承認)</p> <p>ありがとうございます。それでは次の北谷小学校と高城小学校の統合につきまして事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、統合準備委員会第3回まで進んでおりますが、3番の北谷・高城地区について現在の状況をまずは説明させていただきます。まず学校の名称でございます、倉吉市立久米小学校を選定しております。こちらは各家庭のアンケート1家庭1票及び地域の意見をもとに第3回統合準備委員会、5月2日に開催しておりますがこちらで選定しております。それから、学校の位置は現在の高城小学校、そして校章、校歌、スクールバス、PTA規約、体操服については現在検討中でございます。校章につきましては新しいものにするということは調整済みです。次回の統合準備委員会、5月30日に開会されますが、そちらで検討します。校歌につきましては新しいものにするということは調整済みです。校歌につきましても次回検討します。スクールバス、北谷地区が現高城小学校に運行することは調整済みです。運行ルートについては今現在検討しているところです。PTA規約は案を作成済みです。両校の役員会に諮り調整する予定です。そして体操服、こちらは2候補に絞り6月末に決定する予定です。小鴨・上小鴨地区及び北谷・高城地区の統合に伴う倉吉市立小学校及び中学校設置条例の1部改正については今のところですね市議会6月定例会に上程予定でございます。</p> <p>それでは諮問書をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諮問書の読み上げ ・諮問理由の説明 ・参考資料の説明（今後の児童数推移、校区図、統合準備委員会設置要項等） <p>北谷・高城小学校の校名についてですが、校名については公募した結果123案出ました。それを4案に絞られました。そのあたりについてはまた別資料、統合準備委員会だよりをご参考にしていただけたらと思います。4案というのは久米小学校、みどり小学校、緑志小学校、久米の郷小学校、この4案になっております。この4案に絞られた考え方ですけれども、複数の校名案を地域に提案して地域からの意見を吸い上げたい、それから出来るだけ子ども達の案から選びたい、そして、どちらかの地域を連想するものは避けたい、他の地域を連想するものも避けたい、似た名前のもを避け、絞った方が良いという考え方で4案に絞られております。この4案を各家庭1票投じていただく、そして、地域の意見も吸い上げていただくということで、その結果、久米小学校、こちらの投票数が多かった。具体的にいいますと久米小学校の投票数は52票ありました。1番多かったということ、それから、地域の意見でも久米小学校の意見が多かったということがございました。統合準備委員会で話し合ったときに出た意見を紹介いたします。久米小学校についてはやはり馴染みがある名前である、地域の意見でも多かった、公募したときにもかなりの数が公募として上がって来ておりこれは民意を反映することになるのではないかと、そして、久米小学校という名前は保護者、児童からの応募も多かった、それから保護者児童の意見としても多かったので尊重したい、そして、久米以外のものを選んだ場合の理由はなかなか思いつかないというふうな意見がございました。統合準備委員会の中では、みどり小学校もどうだろうかというような意見もございました。ただ協議を重ねる内に、やはり先ほど久米小学校にするという意見を踏まえたら、みなさんが、では久米小学校で異議はございませんということで久米小学校の方に選定されております。少し説明が足</p>

	りませんでしたので付け加えさせていただきます。先ほど各家庭1票投じていただくというふうに申しあげましたけれども、こちらは小学生のいる家庭から1票投じてもらっております。子どもの意見を反映したいということで、小学校のいる家庭から1票を投じてもらうという形にされました。以上のような結果から久米小学校というふうな校名が決定しております。それでは北谷小学校・高城小学校、こちらの廃止および倉吉市立久米小学校の設置について審議いただければと思います。よろしくお願いします。
会長	ありがとうございました。皆さんからご質問なりご意見なりございませんか。
委員	合意ということでご説明では全会一致というコメントでしたけれども、全員が賛成されたという理解でよろしいでしょうか。
事務局	話し合いの際には、久米という意見が多くて、他の意見もございましたが協議を進めていく中でやはり久米がいいだろうということで皆さん納得されて全会一致という形となりました。
委員	もう1点よろしいでしょうか。まだ聞くのは早いかもしれませんが統合後の北谷小学校の校舎とかをどういうふうにしていくのかというのは、今後の検討課題ですか。
事務局	はい、今後ですね地域づくり支援課さんも入りまして地域の方と協議をされて活用について考えていかれます。
委員	ありがとうございます。
会長	そのほか皆さんの方から何かございますか。
委員	はい。
会長	お願いします。
委員	北谷・高城に関しては話のニュアンスとしては皆さんの多かった意見を尊重しつつ決められましたということでその方向に反対するものではございません。いい方向だなと思います。参考のために聞かせてほしいのですが、まず123種類の校名案から4校の名前を選ばれた。小学校の子どもがいる家庭で1番多かったのが久米小学校で52だというような説明がありました。そのほかの3つはどういった感じだったのでしょうかということと合わせて、準備委員会でも投票されたのかな、声を集められたように言われていたのですがその結果はどうだったのでしょうか。前回のことがあるのもれなく出されたいいのではないかと思いますのでしけれどもいかがでしょうか。
事務局	はい、ありがとうございます。では、投票結果についてまず申し上げます。久米小学校が52票、みどりは10票、緑志は11票、久米の郷7票となっております。（その場で統合準備委員会の中では投票ということはされておられません）。ただ委員さんの中で小学校の子どもさんの保護者の方は、家庭の方で投票しておられるということになります。
委員	さっきの説明では子どもがいる世帯の考え方と統合準備委員会の考え方を上手く調整しておっしゃったように聞いたのですが、どちらかという小学校の子ども数いる数をベースに委員会で話し合われ、委員会の中で特に票数を出されたということではないということですか。
事務局	はい。
委員	存在する数の中というのはこれ1本だということですか。
事務局	そうですね。やっぱり基本的な考えとしまして子ども・保護者の意見を大事にしたいということをおっしゃっておられまして、そこをベースに決定しております。
委員	はい、分かりました。

会長	よろしいですか。他にはございますか。成徳の問題がありましたのでできる限り子どもの声も反映させたいという思いでここまでやってこられて、久米小学校になったと、努力の賜かなと感じております。
委員	私も補足で説明させていただきます。倉吉市自治公民館協議会の常任委員会の中で、該当の委員長さんがおっしゃったのは新しい学校を作るんだというコンセプトで、すべて話を進めたとおっしゃっていらっしやいました。その上で子ども達のことを考えてやろうということで進められたということをお伺いしており、その成果がこのような形になったのかなと私も感じております。
会長	それでは北谷小学校・高城小学校の統合についてご承認をいただけますでしょうか。 (異議なし 承認) ありがとうございます。ご承認いただきましたのでただいまから事務局の方で方針案を作成、配布させていただきます。
委員	こうやって諮問に対してはOKですと答申して、このあとの過程というのは、今後の動きというのを最終決定するまでの動きを聞かせてもらいたいと思うのですが。
事務局	はい。このあとの流れですがこの答申を教育委員会の方にまた返します。そして教育委員会でその答申をうけて今度はこの校名を決定しまして、そして、6月議会の方に上程という形で進んで参ります。
委員	最終は議会が決めるということですね。
事務局	はいそうなります。
委員	すごく中途半端なんですけれども、議会で意見が変わったらまた再議ということになったりはしないのでしょうか。これまでの経過を議会が全く無視ですよねという感じはどうなのかと思ったのですけれども。いかがなものでしょうか。
事務局	はい。そのあたりにつきましてははですね今皆様に校名決定の経過についてご説明させていただきましたがその経過についても伝えて理解を得たいと考えております。
委員	はい。
会長	よろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	ありがとうございます。
会長	お手元の方に答申案が届きましたでしょうか。 ・答申案の読み上げ 皆様よろしければ5月12日に教育委員会に答申をさせていただきます。よろしいでしょうか。
委員	細かいですけど久米小学校の方は(新)は必要ですか。
会長	新はいりませんね。
事務局	ありがとうございます。必要ないと思います。
会長	ありがとうございます。ではそこを修正していただいて、お願いします。 では5月12日に教育委員会の方に答申をさせていただきます。
事務局	ありがとうございます。
会長	それでは続きまして日程3番の報告事項に入らせていただきます。令和4年度重点施策に基づく実施報告について説明をお願いします。
事務局	令和4年度重点施策にもとづく実施報告の説明 ・開かれた学校づくりの推進について ・家庭教育の充実について ・学力向上の推進について

	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実について ・安心安全な教育環境の充実について ・学校の適正配置について ・たくましく健やかな心と体づくりの推進 ・人権尊重社会の担い手づくりについて ・文化資源の保存活用と文化芸術の振興 など
会長	日頃から感じておられることとか。このコロナ禍の3年間本当に子ども達と出会う機会が減ってしまっておりまして残念な思いをしておりますが、こういった活動をしてきておられると何か気になることとか心配事とか、何かありましたらまたお伝え願いたいと思いますがどうでしょうか。
委員	1つ質問良いですか。それぞれにですね、実施評価それから施策評価がありますね。事前に説明してもらっていただければ良かったなと思いますが、どれだけ段階があって等ご説明いただけたら。
事務局	評価基準の説明
委員	ありがとうございます。そこに至るまでには何か数字的なものとか検討されてこういう評価になったという捉え方でよろしいですか。
事務局	そうですね。内容によりますが、数値で評価できるものは学校からの評価であるとか、市で行っている評価の項目等そちらを集計して出したものもございますし、それから数値化が困難なものは、こちらの方でこうだった、こういうことだということで判断したり学校さんの声を受けて評価をしたりさせていただいております。
委員	ありがとうございます。
会長	何か他にはございませんでしょうか。
委員	上井地区は河北中学校がありまして、ずっと、運動会の運営のボランティア、去年からは清掃活動のボランティアをしていただいております。去年は特に10月だったでしょうか、30人ぐらい生徒さんが来られてそれに地域の方が20人か30人ぐらい入っていただいて清掃作業をしていただきました。また今週末14日の日には上井地区の運動会がありますが、その時にも30人ぐらいの生徒さんがボランティアで来ていただいて同時にクリーンアップ作戦もやっていただくというようなことを聞いております。こうやって継続していただけるということ、それが学校の風土といいですか文化になっていって、そういうことが当たり前なんだと生徒さん達に身につけて、将来大人になったときにでも郷土に対する愛着を持っていたらなということをご期待しながら大変助かっておりますので、そのことを報告させていただきます。ありがとうございます。
会長	ありがとうございます。他の校区でもそのようなことはありますか。
委員	東中も昨年度の年末に校区の公民館の方にそれぞれの地区の子が出かけまして、成徳公民館は館内の清掃を中学生がボランティアでしましたし、上灘の公民館もスリッパの掃除だとか周りの草取りなどをしました。成徳小学校の図書館が改装になる関係で図書の荷物を運んだり、灘手や社でも調理室の片付けをしたり枯れ葉の掃除をしたりというのを東中も地域に出てボランティア活動をさせてもらっています。
委員	あと玉川の清掃も。
委員	玉川は今年はありません。
会長	西中も本当にこの3年間なかなかボランティア活動が出来ないような状態が続いたのですが、今年はそれぞれ地域の中でも祭りを復活させるとか園と繋がるとか、地域の方達と繋がるということを計画中ですし、センターもボランティアを募集していこうということを考えて取り組み始めたところです。先ほどの統合問題でも見ますと児童生徒の数が急速に減っていくということを考えると、本当に

	<p>地域の中に子ども達の活躍の場をどんどん広げて取り込んでいって、地域のおっちゃんおばちゃんにいろんな事を教えてもらってという機会が増えていくことが非常に重要だと思っています。地域の次世代育成というところが本当に大きな鍵になると思いますので、こういう点で考えると中学校区の存在というのはいかなり重要な時代が来るのかなと思っています。保護者さんでどうですか。園で出ておられるですけどまだこれから先のことを考えつつというところではいかがでしょう。</p>
委員	<p>これを見るにつけ先生方本当に頑張っているんだなと、こうやって支えていただいているんだなというふうに思いますし、私たちも小さい頃に地域のおっちゃんやおばちゃんに怒られつつだめなことはだめだよと教わりつつ育って来たので会長がおっしゃられたように地域で、中学校校区区でというのはあなるほどなと思うところがありましたので、今後も続けていただければうれしいなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。コロナ禍の中すごい園運営ご苦労されたと思うのですが地域と繋がること、うちのセンターとかもテレジアさんとかひまわりさんとか園と繋がることを本当にしたくても出来ない状態でした。これからはいかがでしょうか。これから幼児さん、地域の中で子どもの姿を見ることがなくなってしまっている、子どもに目を向けてもらうということもしないといけないかなと思っています。</p>
委員	<p>まず、成徳小学校地区でも倉吉幼稚園さん、めぐみ園さん、成徳小学校さん、加えて東中さんとも交流活動を継続していました。オンラインでの交流であったりとか形は色々工夫しながらにはなっているんですけども、これからはどんどん集まって交流していけたらなと計画をしているところです。成徳コミュニティセンターさんの方からも交流会の打診をいただいたり、これからそういう機会が増えていかなというところで準備しています。</p>
会長	<p>何かございますか。</p>
委員	<p>同じ文化資源のところばかりで申し訳ないのですが、令和5年度のこともこれから言われるのですが、先ほどお聞きして各学校が動画をアップされたと言うようなことで、こういう資源をみんなで共有して使うことは出来ないものなのでしょうか。著作権の関係などもしかしたらあるかもしれませんが、子ども達が頑張っている姿を他にどんどん出していってこういう倉吉の姿みたいなのをアピールすることができれば、子ども達の方ではなく地域だったり行政の責任だったりするので、そういうことをしてもらったら良いのではないかと思いますし、今年度の話になって恐縮なのですが、市が大きく機構改革をされて広田市長の方針として1丁目1番地が人口減対策の人口減を抑制する対策、人口増の対策というところで、しごと定住促進課というのを作ってワンストップで企業、特に倉吉の会社を上手く増やしていきながら人口増に繋げるということがあって出来たら、このところでもですね地域という中に会社も入れていただいて企業とやってらっしゃることはよく知っています。河北中学校がバルコスさんの視察に行ったりというようなことをされていて、先生が一生懸命企業に行かれたのも知っています。倉吉検定などもされていたのも、実は商工会議所の会員は全然知らなくてですね。要はもっとPRされたり共有させてもらったり市長部局とも共有されて企業も一緒になって地域も一緒になって倉吉の人口減解消、人口増に取り組んでいくような、もちろんメインメニューではないのですが、教育委員会の中ではサイドメニューではあることも承知していますがやり方も工夫されて市長部局とも協議されて「私たちの倉吉」だったり、活用だったり改訂だったりをどんどんしていただければいいな、企業の紹介だったりもしていただけたらいいなと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。</p>

会長	ありがとうございます。
教育長	ありがとうございます。今ご紹介いただいたリーダー会議の中から起こってきた倉吉市の良さをアピールしようというのは本当に子ども達の発想、特に中学生の発想でした。令和4年度に動き始めてどういうふうアップするのかというところから担当者も苦労したのですが、結果HPを作るということで上げているのですが、私から見ても、もう少しPRした方がいいんじゃないとおっしゃるとおりで、これを例えば今日お見えのマスコミの皆さんにひろってもらって記事にさせていただくとかですね、そういうことも考えたいと思うし、継続したいと思っています。今年度もリーダー会議を予定していますので、今、お話ししていただいたようなことを子ども達に伝えて、あそこにこういう話をしに行ったらこういう協力が得られるかもしれないというような活動も含めながら考えたいと思います。ありがとうございます。
会長	産業界と繋がるということをすれば子ども達のキャリア教育、将来を考える事に繋がっていくと思います。これからは、自らが起業するというような意識が持てて将来を考えられるようになるといいなと思いますので、ぜひとも協力体制を作って進めていただけたらと思います。ありがとうございます。
事務局	昨年度はまずは動画を作ろうというところからスタートしておりまして、今年度はそれをどうやって広げていこうかということも話し合っていく方向でございます。
会長	それこそ企業さんの出番で色々知恵を出していただけたらなと思います。
委員	企業さんのバックアップでiPad等を学校にいただけないでしょうか。東中はリーダー会議の中で打吹山に登ってみようということで生徒が打吹山に登ってその間にどんなものが見えるのか、頂上で何が見えるのかというところを紹介して倉吉ってこんなところだよということと、未来中心を紹介する動画を作って、こういうものがありますよ、みんなぜひ遊びに来てねという動画を2本作ったのですが、これは今、学友会、生徒会の代表の子達が教員のiPad等を使って編集して動画にしたんです。今学校にあるのはChromebookというもので、これで動画編集をすることがなかなか難しいです。今年度は実は1年生が総合的な学習の時間に倉吉のことを調べているのですが、調べた倉吉のいろいろなものをアピールする動画を各班とか学年とかで作って、それをまたHPにアップしながら総合的な学習の目的に沿って作品を作っていくということに取り組みたいと思っています、それを今、一生懸命準備しているのですが。そのための、代表の子がする時には機械は教員のものの方が良いのですが、子どもにさせるのにiPadがあると良いなと思っていますがお金がなくて。
委員	いろいろな方法があるのではないのでしょうか。そういう課題があつていくら欲しいですというのをみんなが共有するところから始めませんか。
委員	そうですね。そういうことでお願いできれば良いなと思っています。
会長	学校の中から外に困っていることもこういうのが欲しいというのが出てこない外からは何を援助したら良いのかなと言うところがありますし、子ども達には学校の中の学びにとどめないでいろんな人に出会わせてそこで学ぶことも大きいと思うのです。それが社会に出たときの人間関係を作る、仕事を生み出すなどということに繋がっていくので、ぜひともこのコロナ禍の規制緩和も外れたところで色々子ども達に出会いを提供したいなと思います。是非いろんな関係が作れると良いなと思います。
委員	おっしゃるとおりで、どんどん出されて、特に倉吉市さんは市政70周年ということなので人材作りはさっき言ったように1丁目1番地なので教育委員会がどんどんまず予算要求をされることを遠慮せずに頑張られたら良いと思います。
会長	子どもを育てないと将来がないですからね。皆様重点施策実施報告についてはよ

	ろしいでしょうか。 では、次の令和5年度重点施策に基づく実施計画をお願いします。
事務局	令和5年度重点施策に基づく実施計画の説明 ・開かれた学校づくりの推進について ・学力向上の推進について ・安心安全な教育環境の充実について ・たくましく健やかな心と体づくりの推進について ・人権尊重社会の担い手づくりについて ・いじめを許さない学校体制づくりについて ・文化資源の保存活用と文化芸術の振興について
会長	令和5年度倉吉市教育委員会重点施策に基づく実施計画ということで何か皆様の方からご意見、ご質問はございますか。
委員	小中学生のリーダー会議なのですが、今までは菜の花プロジェクトをメインに活動してきたと思うのですが、今の菜の花プロジェクトの現状と、中高生のリーダー会議の内容、今現在どのような活動になっているのか教えてください。
事務局	菜の花プロジェクトでございますが、各学校で今も取り組んでおられるところです。そもそもリーダー会議のスタートが倉吉をよくするために何が出来るのだろうかというところが目的でスタートしています。菜の花を植えて倉吉を黄色一色にしたら、外部の方が倉吉は素敵な町だなと、あるいは元々倉吉に住んでおられる方も倉吉ってやっぱり素敵だなと思っていただけるので菜の花を育てていこうというところがスタートでした。ただ元々の目的は倉吉をよくするためにというところがございましたので、現在、今年度もそうですがリーダー会議におきましては、倉吉をよくするために何が出来るかというのを昨年度、また原点に立ち戻って話し合ったら、動画を作成してたくさん見てもらいたいというようなことが出てきましたので、実は昨年度から動画と言うことも合わせて取り組んでいるところです。また、リーダー会議がございしますが、その時にですね今度は昨年度取り組んだ動画、倉吉の良さをアピールするためにもっとどんなことが出来るだろうかというようなことを話し合いますし、また菜の花については各学校で取り組んでくださいというところで進めて参ります。
教育長	付け加えます。菜の花プロジェクトは倉吉のリーダー会議のメイン看板になっていますので、県内でも。これは継続したいと思います。ただ菜の花プロジェクトだけで地域の繋がりということではなくて、先ほどご紹介があったように学校ごとであるとか小学校と一緒にやってという地域と繋がる活動に広げていきたいという思いがあります。去年は動画を作ってPRしよう、よしやってみようとするようになったんですよ。では、今年はそれを受けてそれぞれの子も達がどんなアイデアを出すかなというところで楽しみにしています。基本は変わっていません。
会長	ありがとうございます。他に何かございますか。
委員	ここで聞くべきかどうか迷いますが、学校適正配置の件で明倫小学校と成徳小学校の校名問題というのが新聞紙上に出ていますけれども、これがこの計画にないということは校名問題だけを別枠で進めようということ動いてらっしゃるということでしょうか。
教育長	はい。
委員	ちょっとその辺の説明が書いてないといけないなと思いますけれども。新聞を読んでいますと夏休み中にはとか、もっと早めてなど書いてありますけれども、新しい成徳と明倫が統合したときの校名をどうするかということだけの協議をされるということですか。
教育長	市長が言っておられるのは1学期が終わった頃と言っておられたのですがそこにはこだわらないということもおっしゃっておられて、とにかく新しい学校が良い

	具合に進むのを見届けてからということですので、今年度考えないといけないのは現在の成徳という名前のままの名称をどうするかというところをいずれかのタイミングで考えないといけないということです。
委員	今年度中にそれを決めないといけないという認識ですか。
事務局	ここの中には入れてないのですが、それは別枠で、おっしゃるようにきちんと進めていかなければならないと思っています。
委員	ありがとうございました。
会長	他には何かございますか。
事務局	説明が足りていないところがございましたので、説明いたします。 追加説明 令和5年度倉吉市の教育方針と重点施策について ・不登校の未然防止と早期対応について ・人権尊重社会の担い手づくりについて ・いじめを許さない学校体制づくりについて ・中学校部活動の地域移行について など すみませんでした。こちらの方の説明が抜けておりました。
会長	今、追加説明がございましたが何か感想なりご質問なりあるいはご意見なりございましたら。コロナ禍の中で子ども達が運動不足になってないかなと心配を非常にしたのですが、いかがですか。
委員	コロナ禍にはあったのですけれども、ほぼすべての行事は出来たということもありますし、毎日の中に業間運動であるとか、子ども達が進んで遊ぶということもコロナ禍ではあるのですが、重点にしているので、体力づくりは出来ていたなというふうには思っております。今年度、5月8日から2類から5類に変わったということもあっていろいろな事をとにかくやっちはいくのですが、手放しでは喜べないのでやっぱり対策を練りながら様子を見ながら本当に今全部無くしてしまうのが怖いので、かなり元に戻したのですが、やはりコロナに感染しないように、しかも、子ども達の体力づくりという面では行事も大事にしていきながら、毎日の生活も大事にしていきながら行こうと思っています。
会長	ありがとうございます。例えば明倫地区では青少協の行事を組まれたのです。クライミングだとかカヌーの体験だとかいろんな事を計画されました。スキーもされたりしましたね。結果、参加の応募が多いのは男子女子と言いたくはないですが、女の子の方が多いという。男の子はあまり参加しないよねという話になりました。良い機会なのにとっても残念というのもあったり、それと結構ゲームにはまっているのは男の子の方が多いかなというのをちょっと感じたりしております。センターに来るのも以前は男の子の方が圧倒的に多かったのですが、女の子の方が多くて体験などを呼びかけると反応があるのは女の子ということが実態としてもあります。出来る限り地域でいろんな人に出会わせながら、先ほどもお話をしましたがいろいろな事を仕掛けていきたいなと思っております。こども基本法が4月1日から施行になりまして、子どもの思いや声を吸い上げる、聞くという、これが地域としてもそれから園・小・中・高、そして先生方にしては家庭にしても1番だと感じておりますので、そこは大人が一生懸命頑張らないといけないところかなと感じているところです。さきほどいじめのことなど色々言われましたけど学力もですが、1番学級の雰囲気大切というのは本当に重要なところだなと私も日頃感じております。教育方針を最初に設定したときは行きたい学校、帰りたい家、住みたい地域というのがキャッチフレーズであったのですが、その通りにほんとにしなないといけないなと感じております。先ほどの統合の問題でも激減する児童数という、地域の次世代をどうやって育てるかなというところ

	<p>が大きな課題、8040とか8050とか色々福祉の問題があることを言われておりますが、その辺も含めて、どうやって次世代育成をしていくかが大きな課題で、地域の文化が失われるというような危機にも今、直面しているというふうに思います。食育の点でも子ども達が知らないこともいっぱいあるのですよ。調理器具なんか本当に分からなくなる。そのうち、もしかしたら臼と杵も分からなくなるのではないかなというようにそういう不安も持っておりますし、今食卓に上っている物も何を食べているんだらうかなということもすごく注目をしながら、食べることも心と体の育成に繋がっています。コロナ禍でなかなかPTAさんも研修がなかったですよね、あまり持てなかったですよね。その辺もやっぱりもう一回みんなが悩みを抱えておられると思います、保護者さんも。そういうのが共有できて、悩みを話し合っ、では誰に投げかけて助けてもらおうかみたいな話ができるといいなと思って、そういうことで子どもの健全な心とか折れそうな心を支える大人がいるという関係を作っていけたらなと思っております。人権尊重の社会、人権と平和と環境の世紀と言われながら、残念ながら、災害は起きるし、戦争は起きるし、本当に人の命とか人権が尊重されているのかということもなかなか大人の社会にもまだまだだなというところを感じておりますので、大人の姿を見て子ども達は大きくなるので、私達が良き見本となってモデルとなって見せていかないといけないなというところです。</p> <p>皆さんよろしいですか。</p> <p>次に、すみません、これ以降は非公開ですのでご退席をお願いいたします。</p> <p>それでは学力検査結果、不登校者数の出現率、小中学校の問題行動についてというところでお願いします。</p>
事務局	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力検査結果について
教育長	<p>中学校の資料は2022年ということは1年と書いてあるのは2年生ということですよ。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
教育長	<p>今の2年生が1年生の時のデータです。3年と書いてあるのはもう卒業している子ども達です。</p>
事務局	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校者数等の状況について ・問題行動について
会長	<p>何かご質問とかご意見とかございましたら。いかがですか。</p>
委員	<p>不登校の出現率を見させていただきますと、小学校の場合は4年生、中学校は2年生。そのことは、この年に限ったわけではなくて、毎年4年生がいる、2年生がいるわけですよ。なのでそういうところが原因なのかどうか、それも1つの原因かもしれませんし、不登校ですから個別的にいろいろな問題があったりするということも理解しておりますけれども、差し支えなければなぜ急激にこうなったか。児童数が減って分母が減って不登校になった数がちょっと増えたから上がったという問題でもなさそうですし、そうするとすごく突然みたいにみえるんですよ。そのあたりはどんなふうに教育委員会としては把握しておられるのかなと。そこがあつての対策となるのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>小4、中2、これに関しまして、そこだけかなり飛び抜けて多いという訳でもないのですが、他の学年と比べればですねちょっと多い傾向にあるというところがございます。特に4年生、5年生あたりがよく増え出すというところが毎年続いている傾向がございますので、そのあたりもあるのだらうなど。あるいはやっぱり色々それまで3、4年生になってきますと集団との関わりが増えてまいりま</p>

	す。友達関係のことも問題としても上がってくるだろうということも当然あると思います。学習というわけではなくですね、いろんな要素が関わってきての不登校だというふうに捉えていますので、もちろんそれだけというふうに限定せずに、その子その子なりの原因というか考えられるものをしっかり見取って、そして、1人1人に対応していく事が大事だというふうに感じております。
委員	分かりました。もう1つ良いですか。これ数が上がっていますけれども復帰したという児童生徒はどの程度いるのでしょうか。
教育長	約6割です。60%です。
委員	小学校も中学校もですか。
事務局	はい。
教育長	概ね60%ぐらいです。小学校も中学校も。
事務局	昨年度は、大体60%越えですね。大体3分の2は望ましい方向に改善したというふうに数値が出ています。一昨年度は50%という形だったようです。
委員	ありがとうございます。
会長	不登校の児童生徒さんのテストは受けられていないですよ。成績は分かりませんよね。
教育長	受けているケースもあります。
会長	不登校で本当に学力が付けられないまま中学校卒業して、結果、識字の問題で読み書きが十分に出来ない保護者さんがいるようなケースが出てきていまして、なかなか学び直しの機会をとることがあるのですけれども、そこに結びつかないという悩み、行政としては本当に手続きなんかも出来ない保護者さんもおられるという状況もあって厳しいなと思ったりします。青少年健全育成指導員の総会がありまして、倉吉警察署の去年の非行状況から、窃盗とか万引き自転車盗難等が増えているし深夜徘徊が増えているということを知りました。また深夜徘徊が増えてきたのかと思って、いろいろなことを思い出しながらしっかり子ども達を見ていかないといけないなと。子ども1人1人の家庭も含めてどのように見ていくか、見取りですよ。そこをやっぱりもっと丁寧にしっかり見ていかないといけないんじゃないかなと感じております。学習、学力が本当についているお子さんと、家庭状況が大変な中で、ヤングケアラーなんていうことも出ていますけれども、学習環境がないお子さんもあったり、家庭学習が十分に出来ないというお子さんもあったりすると、かなり差が出てきます。学力差が出てきます。それが4年生とか中学2年生になると内容が難しくなるので厳しいのかなと思えますし、その辺が子どももちょっとだんだん投げやりになってくるのかなと思えます。また、不登校が長引くと保護者さんは途中でもういいわと、登校刺激ももう与えなくてもいいわと、波風たたない方が楽だというような状況のご家庭になる場合もあって色々大変とは思いますが、地域の方とも協力し合えるところはして、なんとか外の世界に子ども達の目が向くようにアプローチをしていけたらなというふうに思っております。ありがとうございました。何か皆さんの方からございますか。
事務局	今、会長さんから学力保障ということがございましたが、不登校の子ども達の中にはですねタブレットを学校から持ち帰って、タブレットを通じて学校の授業に参加している子ども達もいます。それから中部子ども支援センターであるとかフリースクールという形、また、別の形でですね施設の方に通って学びができるよというふうにしてそういう施設も紹介したりということも行っております。
委員	不登校の出現率については中部地区全体でいうと、小学校の方が令和4年度は2.03%ぐらい、それから中学校の方は7.4%ぐらいということでした。これもぐんと上がっているのですが、県の方でも長きにわたってコロナ禍での影響というのが子ども達にどのように影響してきたかということは、いじめ不登校総合対策

	<p>センターを中心に分析を進めていくというところでは、この前ですけれども文部科学省の方で生徒指導提要が改定されまして、その中に不登校への対応というところもあるのですが、やはり今後アセスメント、子ども達の背景とか要因というものをしっかり見取って対応していくというそのところの重要性というところが、ますます大事になってくるだろうというところでのそのような発信もされているという中で、倉吉市さんの特徴的な取り組みとしてSSWがすごく動きが良いといえますか、家庭や地域に入り込んで、しっかりと子ども達を支えていらっしゃるというところは県内でもすごく特徴的なところかなというところがありますので、そういった取り組みプラス学校でアセスメントを大切にしながら1人1人の行動を見ていくというような、そういうところを地道にしていくということが必要だろうという風に考えております。県としましてもそういったところと一緒にサポートしたり、一緒になってやっていくということをやりたいなというふうに考えているところではあります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。皆さん、今の重点施策、計画についてはもうよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどの不登校の話なのですが、今年度になって1年半不登校だった子が毎日来ています。休まずに。結局数人が改善したという事例があります。不登校の原因って家庭が原因の時もあるし、友達が原因のこともあるし、単に学校が原因のこともあるのですが、そのあたりで学校になぜ来るようになったかというところがみんなどうしてだろうという感じで。でも、地道に毎日関わっている、毎月1回不登校対策委員会を設けているいろんな対策を考えたり、それからSSWの方とも話をし、そして、やっぱり変わってきたことというのは、保護者の方と繋がりが深くなっていくと、ざっくばらんに話をしている、まだまだ行きませんと言っていた子が本当に1日も休むことなく登校班で来ているんです。今年度は改善が見られたというところが大きな事でそれは喜ばしいことなのですが、良くなった原因も考えていきたいなと思っているところではあります。</p>
教育長	<p>続けてみてやってください。継続してみないと、どこでそれがまた戻ってしまうかもしれない。</p>
委員	<p>やはりGW明けとか夏休み明けとか。そこは1つ1つの節目で見ていって少しの変化も見逃さないようにというか。そういったところでいろんなことをしているのですが、何が効果があったのか。自分も今勉強しないといけないのではないかと考えたのかもしれないとか。担任の先生が個別に指導しながらということですが、今のところ休まずに来ているというところがあって、それは大事にしていきたいし、変化も見取っていきたいし、こういう改善しているところもあるなというところをお伝えしようかなと。</p>
会長	<p>ありがとうございます。是非継続してみてください。最近の子ども達、何年か前から幼児さんも、高校生もですけれども、自分を見て褒めてくださいというような子が非常に多いなというのは感じています。ですので、そばで誰かが「あなたすごいね」と言ってくれる人がやっぱり欲しいのだろうなと思っております。いじめの背景として子ども、いじめる側、いじめられる側の子ども達にその子達自身の人権が尊重されている環境がありますかということ。家庭にもその家庭の中でも不遇な状態、学校の中でも不遇な状態、地域の中でも。弱いところに、絶対いじめる子は自分より弱い子に行くし、いじめられればなしだと立ち上がれなくなる、思いも言えなくなる、「助けて」さえも言えないような。その当事者の子ども達だけではなくて周りの見ている子ども達の態度もどうなのか、受け入れる学級、地域、学校があるのかということもしっかりと見てくださいねということをお願いしたい。それから今、進路虐待、親から受ける進路虐待というのがあります。毒親というのがあるので、その辺もやっぱり、しっかり家庭を見ていく、</p>

	あるいは家庭が困り感を持っておられるところにどうやったらプラスのアドバイスをしてあげられるのかなというところも私達も協力をしながらやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
委員	ありがとうございました。
教育長	本当にありがとうございました。たくさんのご意見をいただきました。話題になっていた中で2点お伝えしたいことがあって、1つは夜間中学、県立の夜間中学が令和6年の4月にスタートします。場所は湖山です。学び直しということがありましたので先ほどおっしゃっていたような例で、形式的に中学校は卒業しているけれどもやっぱりもう1回勉強したいという方は行くことができます。そして、もう1つ、倉吉市内で生まれている赤ちゃんの数が気になっていて、コロナ禍の前は年間370人前後ぐらい生まれていますが、昨年度は300人です。このコロナ禍になって、毎年生まれている赤ちゃんの数が何十人単位で減っているんです。また赤ちゃんの数が少しずつでも増えてくるといいなと思っているのですが、なかなかこの3年間の減った数は取り戻すことが出来ませんから、私達はこれだけしかいない子ども達を大事に育てたい、可能性を信じて頑張れと応援したいなと思います。今日は本当にありがとうございました。
閉会	